

石島会計メモ

平成27年12月号



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島洋一

リベンジか、それとも振り返りか

所長 石島洋一

☆☆運の悪かった昨年の試験…

ちょうど一年前、私はこの「石島会計メモ」で資格試験に挑戦したことをお話ししました。「マンション管理士」という試験に、たった二ヶ月の勉強で挑んだのです。わずかな期間で合格できたら「カッコいい」ではないですか。「超短期間で合格の偉業！」と勝手にイメージを膨らませていました。

しかし、さすがは合格率8%の難関試験。あと少しのところとはいえ、不合格でした。惜しかった、運さえよければ…。

☆☆再挑戦への動機付け

超短期間での合格作戦に失敗したものの、あまり大きなショックはありませんでした。むしろ、あの短期間で善戦したことが満足感につながっていました。ほぼ合格水準まで行けたこと、運さえ良ければ受かったのだ、そのことで満足しており、再挑戦など考えていませんでした。

しかし、試験から半年近く経ってきたときです。「不合格のまま終わるのは悔しい」と思い始めたのです。

「そうだ。あの短期間であそこまでできたのだから、これから半年掛けて最高点で受かってやろうじゃないか」

資格試験に最高点は不要です。受ければよいので、合格点に達しているかどうかだけが唯一の評価基準です。でも、今回ばかりは、どうせなら最高点を目指そうではないか、私に新たなかつこよい目標が生まれました。

☆☆失敗には必ず理由がある

本格的に勉強するため、通信教育を受けることにしました。今の通信教育はインターネットで、動画を駆使し、まるで自宅が教室です。

仕事を終え、夜が通信教育の時間となりました。学校へ通うわけではないのですが、イメージとしては、

週4日程度夜間学校に通っている感じでした。眠たい目をこすりながら、格闘しました。

(気になる続きは裏面へ)

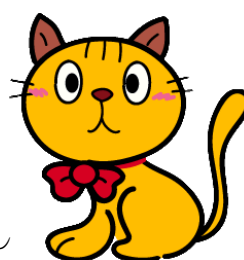


講師からいろいろな話を聞けるのはものすごく大きなプラスでした。単に資格取得の面だけでなく、会計事務所の仕事の面でもプラスになるような話が多くありました。

そうしているうちに私は気付いてしまったのです。惜しかった、運が悪かったと思っていた昨年の試験——本当は完全な実力不足でした。通信教育で初めて聞いたことが多く、勉強不足でした。昨年は落ちて当然でした。不合格(失敗)は運ではなく、勉強不足、実力不足が原因だったのです。

『失敗には必ず理由がある』

失敗を運がなかったなどと片付けてはいけないと気付きました。最高点などおこがましい。合格に的を絞ろう。それからより一層夢中になって通信教育を受け続けたのです。精一杯の努力をしました。



☆☆再チャレンジの結果は…

11月末に試験がありました。ここまでお読み頂いた皆さんは、めでたく合格とお思いでしょう。実はもう半年前から今月号の会計メモのタイトルは決めていました。「リベンジ成功!!」というタイトルです。

しかし、残念ながら、そうそう簡単ではなかったようです。昨年と違い、自信を持って試験に臨んだのですが、自己採点の結果は昨年の合格水準と同じ点数。合格点は毎年異なるので、合否はどうなるかわかりません。当落線上にあります。発表は1月中旬。まだしばらく、合格したか否か、ドキドキ感を味わえる日が続きそうです。

人間は努力すればするほど、良き結果が出ると期待するものです。でも、この期待は裏切られることが時としてあります。しかし、そこで「努力しても無駄だ」と思っ

てはいけないと思うのです。**私たちはひたすら努力を続け、よき結果への片思いを続ける必要があります。**



超スピードで今年も終わろうとしています。来年も新たな目標を持って頑張りたいと思います。来年のこの欄で、「3度目の正直」などという文章を書かなくて済むよう、試験発表が幸運に恵まれるよう祈るばかりです（やはり運ですか??(笑)）

2016年が希望に満ちた良い年になりますように、との願いを込めて、カレンダーを同封させていただきました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

石島公認会計士事務所一同

トラベラーSat o の巣作りのコーナー VOL.1

(文章：佐藤篤司)

皆さん、お元気ですか～？(´Q`)ﾉ 半年ぶり登場のトラベラーです。相変わらず旅を忘れたトラベラーですが、生涯4度目、最後の？巣作りに励んでおります。そこで今回は趣向を変えて、18年ぶりに出戻る人形町の紹介と巣作りの経過報告をさせていただきます。



左の写真が我が家の今の姿です。時代劇のセットのような張りぼての状態です。木造3階建、床も壁も全て木です。気が多いトラベラーですが、今回は一途に木が多い？です。

鉄骨・鉄筋のビルだらけの地域で、木造にこだわって住宅メーカーを選択しました。私が生まれたここ人形町の地は防火地域に指定されており、このあと防火剤で木を覆い尽くすこととなります。それでも木の家に住みたいという思いは田舎を知らない少年時代からきているのかもしれない。

人形町は私が生まれた町です。この一帯は奇跡的に関東大震災や太平洋戦争の空襲による火災から逃れた古い町並みが今も残る下町です。ひとたび路地裏に迷い込むとタイムスリップしたかのような深い郷愁に駆られます。



人形町は有名な水天宮に代表される神社がとても多い街です。なんと町内で七福神めぐりが完了してしまいます。ちなみにべったら市で有名な梶の森(スギノモリ)神社がトラベラーの鎮守様！神主さんには地鎮祭でお世話になりました。

そして水天宮は江戸鎮座200周年を間近に控えて、新社殿を建築中です(現在は明治座前の仮宮でお参りができます)。竣工は平成28年春に予定され、まさにトラベラーの自宅と同じくして、来年の桜咲くころにお披露目と相成ります。

そんな神社の多い人形町ですが、人形町に住んでいる人、勤めている人でも気が付かないような路地裏の一角にひっそりと佇んでいる大観音寺(おおかんのんじ)を紹介しておきましょう。このお寺は明治13年建立、高さ170センチの頭だけの菩薩様を安置しています。関東大震災の時には消失から人形町を守ったとされ、東日本大震災の時にはその御頭がぐるりと東北の方に向かれたそうです。お寺の脇の井戸は今も生きていて、手押しで漕ぐと地下水が噴き出します。冷たいお水ですが、トラベラーは小さいころ、ごくごく飲んで、お腹を壊しましたのでご用心・・・(笑)

<裏面へ続く>





ここからは、トラベラーの通勤路に沿って日本橋人形町を紹介させていただきます。転居までの残すところ4ヶ月となった愛しの片道2.5キロの自転車通勤路、約10分間の小トラベルをお楽しみください。



まず我が家を出ますとすぐに**新大橋**（隅田川）を渡ります（写真左）。実は、写真にはトラベラーのマンションも写っています。大きいやつではありません（笑）渡り切って右折すると散歩に最適な**隅田川テラス**です。

そこから浜町公園を抜けて、鮮やかな銀杏並木の間を走ります。現在このイチョウ並木は**明治座**と**水天宮**の仮宮に挟まれています。（写真右）



この並木道をそのまま真っすぐに抜けるとかの有名な**甘酒横丁**です。この甘酒横丁、江戸時代には一大歓楽街でした。人形劇や芝居小屋が建ち並び、ほろ酔いのお武家様や旦那衆の溜り場でした。交差する大門通りにあった遊郭（吉原）は焼失した後、現在の浅草に移設されました。人形町の路地裏に置屋や料亭が多いのも当時の名残と言えますね。トラベラーが帰宅途中、**柳家の鯛焼き・双葉の甘酒・森乃園のほうじ茶ソフト・美奈福のおでん・今半のすき焼きコロケ**などをつまみ食いしているのも当時の名残でしょうか？

甘酒横丁の終点で右折、大観音寺横に見て、スタバの角を左折すると先ほど紹介した新居建設地です。そこを右折し**榎の森神社**を左折、日本橋方面へ走らせるとすぐに一押し of 景観が見えてきます。コレドと三越の間を抜けて日銀に突き当たる通りです。**1929年竣工**の**三井本館**と**1935年竣工**の**三越本館**（いずれも重要文化財）の間を縫う贅沢な瞬間です（写真右）。



その突き当たりは**1896年(明治29年)竣工**、囃らずも円の形と相成った**日本銀行本館**。このあたりの建造物はナイトビューもまた堪りません。トラベラーはいつも「東京砂漠」を口ずさみながら、ここを駆け抜けます。さらに30秒ペダルをこくと石島会計ゴールです。

以上、トラベラーの通勤路でした。痛勤路となっている方も自分の通勤路の周りを見直してみてもいかがでしょうか？

それでは次回トラベラーの巣作り（竣工編）、乞うご期待！ **マタネ!**(°-^*)/~